

令和3年第2回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

令和3年2月25日（木）午後2時00分から午後3時27分

○場 所

筑紫野市役所 506会議室

○出席委員（5名）

教育長	上野 二三夫	教育委員	潮見 眞千子
教育委員	田代 邦夫	教育委員	牛川 由美
教育委員	久原 寛		

○欠席委員（0名）

○出席説明員（10名）

教育部長	長澤 龍彦	教育政策課長	吉開 和子
学校教育課長	嵯峨 栄二	学校給食課長	倉掛 伸夫
生涯学習課長	檜木 理恵	文化財課長	宮原 博揮
文化・スポーツ振興課長	大久保 泰輔	主任指導主事	磯部 年晃
指導主事	村岡 陽子	社会教育主事	田中 翔

○出席事務局職員（1名）

教育政策課
庶務担当係長 葉山 順子

○議事日程

1. 教育委員会会議録の承認について

令和3年第1回筑紫野市教育委員会会議録（令和3年1月28日開催）

2. 教育長の報告について

3. 議案第1号 筑紫野市文化財保護審議会委員の委嘱について

4. 議案第2号 令和2年度筑紫野市一般会計補正予算（第9号）教育費について

5. 議案第3号 令和3年度筑紫野市一般会計予算教育費について

6. 議案第4号 令和3年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について

○部課長の報告について

○その他

○次回の日程 【臨時会】令和3年3月24日（水）16時30分 301会議室

【定例会】令和3年3月25日（木）14時30分 301会議室

会議録

○教育長：定刻となりましたので、ただいまから令和3年第2回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。では、議事日程の順序に従い会議を進めてまいります。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いいたします。それでは進行します。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

○教育長：令和3年1月28日に開催しました令和3年第1回筑紫野市教育委員会会議録について、ご異議はございませんか。

○（特になし）

○教育長：御異議なしと認めます。本件については承認をいただきました。

日程第2、教育長の報告の件

○教育長

・校長会

・緊急事態宣言延長下におけるコロナ感染症拡大防止の取組について

（学校での取組：毎朝の検温、健康観察の徹底、マスクの着用、給食時の申合せ事項、全員黒板のほうを向いて食べる）

・令和2年度第2回市不祥事防止対策検討委員会（Z o o m会議で初めて実施）について

（不祥事の防止、報告、教職員のストレスチェックの報告、各中学校ブロックから学校の取組報告、情報共有）

・筑紫野市若年教員研修1年目に係る合同研修及び閉講式について

（初任者30名、初任者指導教諭15名）

・筑紫地区の教育論文表彰式について

（佳作賞2名、着眼賞1名）

・年度末の文書の廃棄について

・管内教育長会（ウェブ会議）について

（所長の挨拶：G I G Aスクールの取組についてはまだまだ道半ばである。しかし、少しでも効果的な利活用ができるように事務所としても様々な情報発信をしていきたい）

・令和3年度新規採用教職員辞令交付式の実施形態について

（4月1日：リアルタイムでのオンラインで実施）

・若年教員研修1年目の開講式について（オンライン）

- ・第2回目の福岡地区不祥事防止対策推進委員会について
（「ハラスメント防止について」その取組の効果）
- ・今後の日程について
 - ・ 3月10日：公立高校の入試
 - 11日：山家幼稚園の卒園式
 - 12日：中学校卒業式
 - 17日：小学校卒業式
 - 18日：公立高校の合格者発表
 - 24日：修了式、臨時の教育委員会
 - 25日：市の校長会（異動の内示）
 - 31日：臨時市校長会（異動発令）、退職辞令交付式
 - 4月1日；新規採用教職員の辞令交式（各赴任校にて）
 - 7日：小中学校の始業式
 - 9日：中学校入学式
 - 13日：小学校入学式
 - 14日、山家幼稚園の入園式

○田代教育委員：先ほどのハラスメントの件ですが、時代の空気というか、時代の空気によって随分変わってきます。私たちがずっと今までしてきた中で全然問題にならなかったようなことが今、何でもかんでも問題になっているような感じがします。例えばテレビとかで見えていまして、そんなことまでなるのだろうかと思う自分が、既にもう時代について行けていないのかとを感じるわけです。

最後にありました6類型とか、こういったような固定的な覚え方をすると、何年か経つとそれが時代にそぐわなくなってくる状況があります。ですから、何かもっと違う根本的なところで、こういったことがハラスメントになるということをきちんと理解していかないといけないと思います。

○教育長：表面的なところではいけないということですか。

○田代教育委員：なまじ分類とか類型とかをつくると、何年かたつて、かえってあだになるようなことが出てくるのではないですか。随分、時間の経過とともに、この内容が変わってきていますから。

○潮見教育委員：やはりうちの筑紫野市でいつも言っている、人権スローガン「自分がされていやなことは人にしない、言わない」というところを大事にするということ徹底できたらいいか

と思います。受ける側の気持ちを大事にするということを徹底できたらいいのではないかと思います。

○教育長：本当です。受ける側の気持ちを大切にすることが大事です。

○潮見教育委員：何だからいけないということを、先ほど田代さんが言われたように、決めつけるのではなくて、イメージとして。なかなか難しいです。私は平気でも田代教育委員が嫌とか、そういうことがきつとたくさんあると思います。そのところが難しいです。

○久原教育委員：やはりそこが一番難しいところだと思います。その判断をどうするかという線引きが非常に難しいところです。「されて嫌なことは、しない」とか、そういう基本的なことは分かっている、言うほうは分からないところもあります。人間関係をつくってお話をしながら、それはいけないことではないと言われる部分を素直に受け取れるような、そういう雰囲気づくりが大切かと思います。

○牛川教育委員：「言われて嫌なことは言わない」というのは基本的な発信だと思いますが、例えばしかられることも嫌だと思える人にとっては嫌なこと、注意されること自体、自分に非があったとしても注意されること自体が嫌だと受け取れば、それがパワハラになるのかという線引きが非常に難しい問題かと思います。

あと、この事例に載っているセクハラが、主に男性側から女性側に与えるセクハラの事例が非常に多く見受けられますが、やはり時代の流れで、女性上司から若手の男性に対して、立場上断れない、嫌悪感がある事例というのが、あまり表面化されてないところもあるのではないかと思います。隠れているかと思います。

○教育長：なるほど、そうですか。分かりました。確かに線引きというのは、今出ましたけど、なかなか難しいです。さっき学校の話もしましたが、学校もそれぞれ学校長16人、山家幼稚園を入れると17名、トップがいるわけですが、やはりどういう学校経営をしているかということも含めると、なかなかその辺りについては、私が見ても、これはかなり言い過ぎではないかと思うところも報告を聞いて分かります。何かその辺りについては、もっともっと人間関係をきちっと成立させて、そして少し、一歩も二歩も引きながら、しかし言うことは言うという。その辺りのことをきちっと最初約束して、ある程度アドバイスしていくようなパターンができればと思います。

これをまたひとつ参考にしていただいて、何かまた話題があれば、ぜひ取り上げていきたいと思います。

○潮見教育委員：一つだけいいですか。教育論文の件ですけれども、ちなみに、どのような内容の教育論文ですか。

○村岡指導主事：全教員、教科は全て算数です。

○教育長：テーマは算数です。

○潮見教育委員：決まっているのですか。

○村岡指導主事：はい。牛島先生に関しては、若年教員ということで経験年数が非常に少ない先生の部門で書かれています。原田小の奥間先生も、同じく若年教員部門で書かれています。

○磯部主任指導主事：補足しますと、別に算数科に限って書いてくださいと言ったわけではないです。自分の特徴としたい教科や生徒指導等も含めてしてもらっていますが、牛島先生は、今担任をしている2年生の学級担任のこと、奥間先生は、新しい試みとして家庭学習と連動して。小学校では復習してきなさいは言いますが、あまり予習してきなさいと言われません。けれども予習をしてきたことを学校の授業に生かしてということで、家庭学習と学校の授業につなげた実践を発表されています。そして、笹山先生は、天拝小学校は校内研修で算数をしているので、校内研修のテーマにのっかって複数の実践を発表されています。笹山先生自身も若い先生ですが、複数の実践から非常に科学的にまとめていた論文の内容になります。

○潮見教育委員：では、御自分たちが取り組まれたことを、実践発表みたいにして書かれているということですか。

○磯部主任指導主事：そうです。大体若年の教員がA4で15枚程度、そして、それ以外の部門は25枚以内ということで、結構忙しい中でまとめてもらっていますが、なかなか質の高い論文でございました。

○潮見教育委員：ありがとうございました。表彰された方というのを聞くのが久しぶりです。ですから、どのような内容なのかと思いました。

○教育長：非常によかったです。それから、少し補足しますが、初任者の閉講式の時、合同研修会の中で村岡先生もしっかり講話してもらいました。それから西岡校長先生、天拝小学校の主幹教諭の田中先生も講話され、2年目から「しっかり頑張りなさい」ということで話をしてくれたのは、もちろんよかったです。村岡指導主事の計らいで、初任者の後ろに指導教員が15人いらっしゃいましたが、講話をしている間に、自分の学校の初任者に対して「手紙を書いてくれ」とお願いしているのです。ですから、4人いるところは4人、手紙を書くわけです。そして終わったときに、「では渡してください」と。初任者はびっくりしたわけです。うれしいわけです。それをみんな持ち帰って、校長に報告した学校もあったようです。これは新しい試みです。

○潮見教育委員：また励みになるでしょう。

○教育長：そうです。筑紫野南中の分を3人分書いた指導教員の文書を主幹教諭がコピーして持ってきました。立派です。いい取組をしてもらったなと思っています。そんな感じがありました。

○潮見教育委員：ありがとうございました。

○教育長：以上です。ほか、ございませんか。

○（特になし）

日程第3、議案第1号、筑紫野市文化財保護審議会委員の委嘱についての件

○文化財課長：（提案理由の報告）

○教育長：本件についてご質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を承認することにご異議はありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第4、議案第2号、令和2年度筑紫野市一般会計補正予算（第9号）教育費についての件

○教育政策課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件についてご質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を承認することにご異議はありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第5、議案第3号、令和3年度筑紫野市一般会計予算の教育費についての件

○教育政策課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件についてご質疑はありませんか。

○久原教育委員：先日、コミュニティのほうで話をしていたときに出たのですが、各小中学校のトイレの改修が行われていると思うのですが、小学校、中学校は、もし地域の中で災害が起きたときには避難場所になる可能性があると思います。そのときに、ライフラインが止まり、混乱したときに、トイレがそういう場合にも使える状態にあるのかという疑問が出てきました。避難場所になっていますが、トイレの問題は非常に深刻な問題で、今まで熊本とかいろいろなところであった災害でも、その問題は非常に重要視されているみたいです。家庭の便器の場合でも風呂の水を貯めていて水を流せと言っているけど、あれも十分ではないみたいです。ですから、もしトイレ工事をされたときに、そういう災害まで見込んで備えられているのかというのが、話していて疑問が出てきたので、御質問をしました。

○教育長：ありがとうございます。現実にかようなことが起きたときに、そういうのをイメージしながらトイレ工事しておくといいいのでしょうか。

○教育部長：小学校・中学校のトイレの改修については、まず洋式化を高めていくといったとこ

ろの取組で随時進めておりますので、災害時、その時々状況によって対応できるかどうかといったところについては、まだそこまでの対応準備はできてないといったところでございます。あくまでも洋式化を今進めているといったところでございます。

○久原教育委員：そうでしたら、建築関係の方に、そこら辺の状況を聞いておいていただけたら助かります。よろしく願いしておきます。

○教育部長：今、委員から出ました意見等は建築課のほうとも話しながら、そういったときにどうしていくのかといったところを検討していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

○潮見教育委員：生涯学習課のほうですが、団体への事業委託している委託費が減額されています。コロナの関係で歳入も減っているところがあるので、いろいろ扱ってはこられていると思いますが、減額されたのは、多分事業ができなかったことも踏まえているとは思いますが、もし、コロナが落ち着いて事業をばんばんし始められたときには、また何か対応とかそういうのは考えられるのでしょうか。一時的なものですか。

○生涯学習課長：基本的に委託をしている分に関しては、こういうコロナの状況において、市の税収などが非常に厳しい状況にあるという中で、市の各課の予算についても縮減するようにということで、全てにおいて見直しを図っています。その一環として、委託の内容についても見直しを行い、減額できるところがないかというところで設計を変えて対応している予算で上げさせていただきます。

コロナ対策で事業ができていないということよりも、財源不足なども今後予想されてくる中で、そういったことも含めた生涯学習課としての事業の見直しを行った結果だと思っていただいたほうがいいと思います。

○潮見教育委員：そうですか、分かりました。団体のほうには、その辺はもう説明は十分していらっしゃるのですか。

○生涯学習課長：はい、しています。

○教育長：了解済みということですか。

○生涯学習課長：はい。

○潮見教育委員：分かりました。

○教育長：ほか、ございませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を承認することにご異議はありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第6、議案第4号、令和3年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算についての件

○学校教育課長：（提案理由の説明）

○教育長：奨学資金の貸与事業ですけれども、最後のほうに具体的な数字の説明がありましたが、大体お分かりでしょうか。継続する方、それから新規の方、あるいは入学資金等の貸与です。それぞれ金額、人数も言われましたのでよろしいかと思えます。本件についてご質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を承認することにご異議はありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

それでは以上で本日の議事は終了いたしました。ありがとうございました。

続きまして、各課等からの報告をいただきたいと思えます。

○教育部長

- ・3月議会について（期間：2月24日から3月23日まで（28日間））
- ・令和3年度の施政方針について

○学校給食課長

- ・3月分の献立について

○文化・スポーツ振興課長

- ・移動図書館車の更新について

出発式：3月25日（木）11時から

○文化財課長

- ・「おいしい！展」について（昭和初期の筑紫野の四季の日常食と行事食のレプリカ展）

期間：2月14日から3月31日まで

○教育長：時間を使って見に来られる方、多いですか。

○文化財課長：いろんなところに今「おいしい！展」のチラシは配布しておりますので、来館は、昨年並みにはいきませんが来られています。

○潮見教育委員：去年でしたか、ふるさと館、歴史博物館に古文書の見学させていただいて、そのときはありがとうございました。お世話になりました。そのときにしっかり説明していただいて、改めて説明していただくとうすごく身につくことだと感じました。

もうされているかもしれませんが、もし一般市民の方から、「どなたか解説してくださる方が

いらっしゃったら」と問合せがあったときに、対応できるようなシステムはありますか。

○文化財課長：まず受付に委託先の職員が常駐しておりますので、そちらでも対応しますし、詳しいお話になると事務所のほうの学芸員を呼んでいただいて、学芸員のほうで対応しております。

○潮見教育委員：お願いしたらできるようなにはなっているのですか。

○文化財課長：はい。展示室のほうには常駐しておりませんが、お声かけいただきましたら説明、レファレンス対応しております。

○潮見教育委員：とても楽しく聞かせていただきました。多分ふらっと見ただけではそこまで思わなかったと思いますが、詳しく説明していただいたことがありがたかったので、市民の方もぜひそういったことができたらいいと思いました。

○文化財課長：ありがとうございます。

○潮見教育委員：こちらこそ、ありがとうございました。

○田代教育委員：少し変な質問ですが、私ここに70年住んでいますが、この郷土料理のレシピはどれも知らないのですが、どの辺で食されているものですか。

○文化財課長：私もあまりレシピは詳しくはないのですが、先ほども言いましたように、平成11年度の開館1周年のときにしたものをもう一回使っておりますので、そのときに調査しました郷土の料理です。昭和の初期になりますので、現代のそれぞれの地域で作られているかどうかは把握できておりません。

○田代教育委員：分かる範囲で調べてもらってもいいですか。その地域でまだこれあるかもしれません。

○潮見教育委員：そうですね。案外山口のほうで残っているかもしれません。

○教育長：山口地区、なるほど。

○田代教育委員：ある意味、筑紫野市、結構広いです。それで、山家地区とか山口地区とか、地域によっても随分差が、違いがあります。

○教育長：学芸員の方に少し調べていただいて、よろしいですか。

○文化財課長：はい。

○教育長：お願いします。

○久原教育委員：筑紫南コミュニティでは、「かけ汁」というのを郷土料理という形で、聞きながら今作っています。

○教育長：何ですか。

○久原教育委員：「かけ汁」です。鶏料理とかわりと多かったみたいです。それに、御飯の上にお汁をかけて。山家も「白おこわ」が有名ですが、それも子どもたちが今作っています。ですから、やはりこういう地域のものとして、地域を愛する子どもたちをぜひともつくっていききたいと

ということで、こういう食に関するものがいろいろ残っているのを大事にしながら広げていったらいいと思っています。「ソーダ饅頭」なんかは、私たちがおよどのときに作ってもらって食べていた経験があり、これを見たら懐かしく思います。ですから、子どもたちにとっても、地域を愛するという部分では非常に大事かと思っています。うちは、コミュニティセンターの主事さんも一緒に開発しながらしてもらっています。ふれあい市のときにふるまったりしているのですが、そういうような形で、何かの形でしていくといいと思っています。

○教育長：本当です。

○久原教育委員：そういうものを、この展示のときに試食で食べてもらおうとかどうでしょう。

○教育長：いいです。そういうのは。

○久原教育委員：そういうこともしたら興味を持ってもらえるのかという気もしているのですが。

○教育長：田代委員、どうですか。率先して食べに行かれるかもしれません。

○田代教育委員：そうですね。

○教育長：ありがとうございます。ほか、ございませんか。

○（特になし）

○教育長：では、これはぜひ時間を取って行っていただければと思います。ありがとうございます。

○社会教育主事

・市内の社会教育関係団体や、コミュニティセンターの取組の状況について

①筑紫野市子ども会育成会連絡協議会

・今回新しくホームページを立ち上げ

②ボランティアバンクの会

・展示会（活動状況報告） 会場：生涯学習センター

③よかまちギャラリー（ずっと文化祭） 会場：筑紫コミュニティセンター

④安西均の献詩事業

⑤ギャラリー御笠（御笠のコミュニティの女性会）

○教育長：大変新しい情報がたくさん入ってきましたので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、この後、その他に移りたいと思います。教育委員の皆様、部課長さんのほうから、何かありましたら出してください。よろしいですか。

○（特になし）

○教育長：それでは、これをもちまして令和3年第2回筑紫野市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。